

柏崎刈羽原子力発電所における平成19年新潟県中越沖地震時に 取得された地震観測データの分析に関する補足説明（その4）

褶曲構造と敷地における被害状況

平成20年7月10日

東京電力株式会社



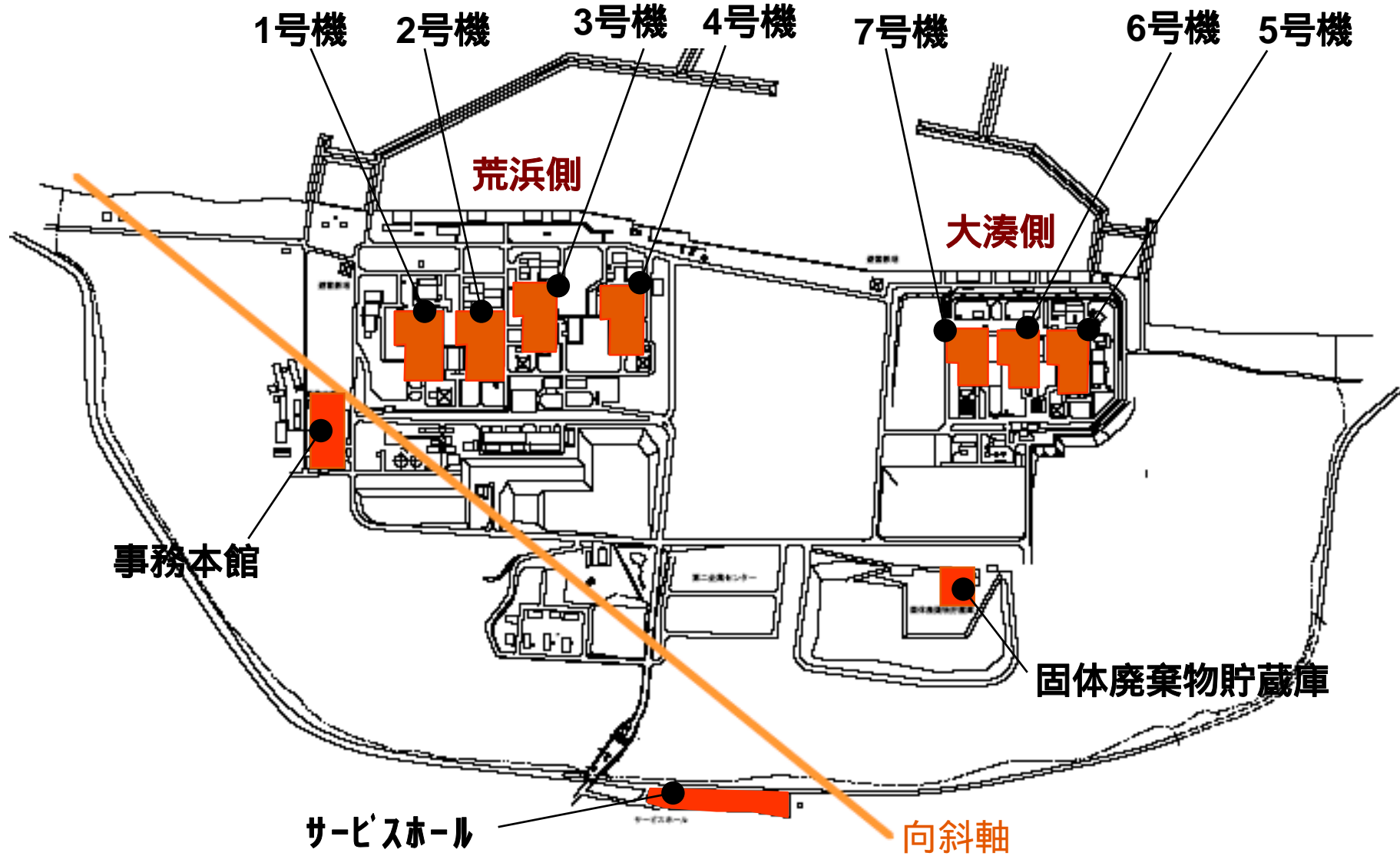
東京電力

検討の概要

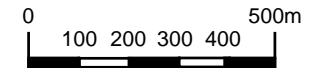
敷地内の被害状況の整理

建築物・構築物等における主な被害状況を図面上に整理することで、褶曲構造と被害状況の関連について検討を行う。

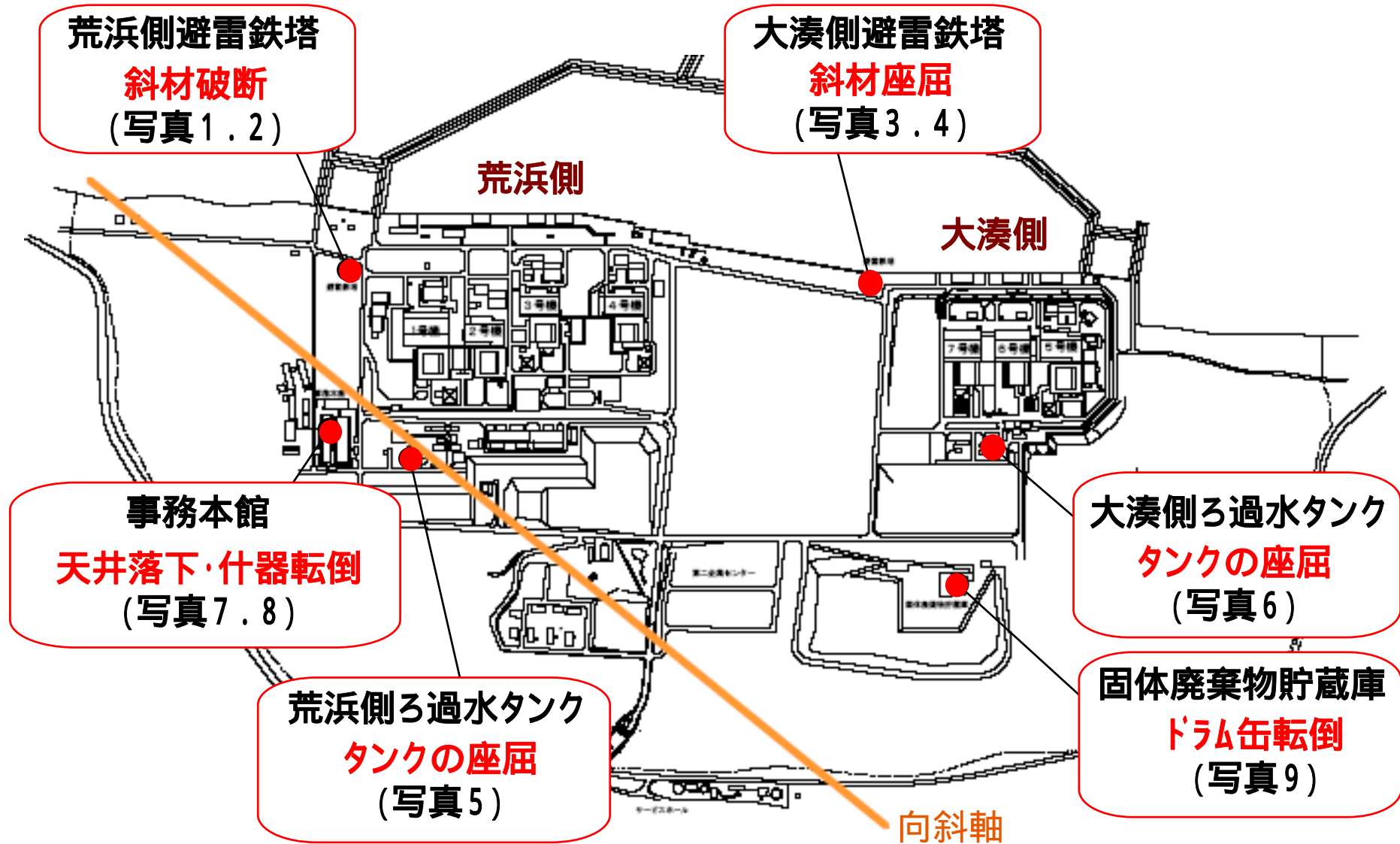
敷地内の被害状況の整理 - 向斜軸の位置関係



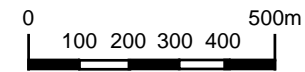
敷地内建物等の配置図



敷地内の被害状況の整理 - 建築物・構築物等における主な被害



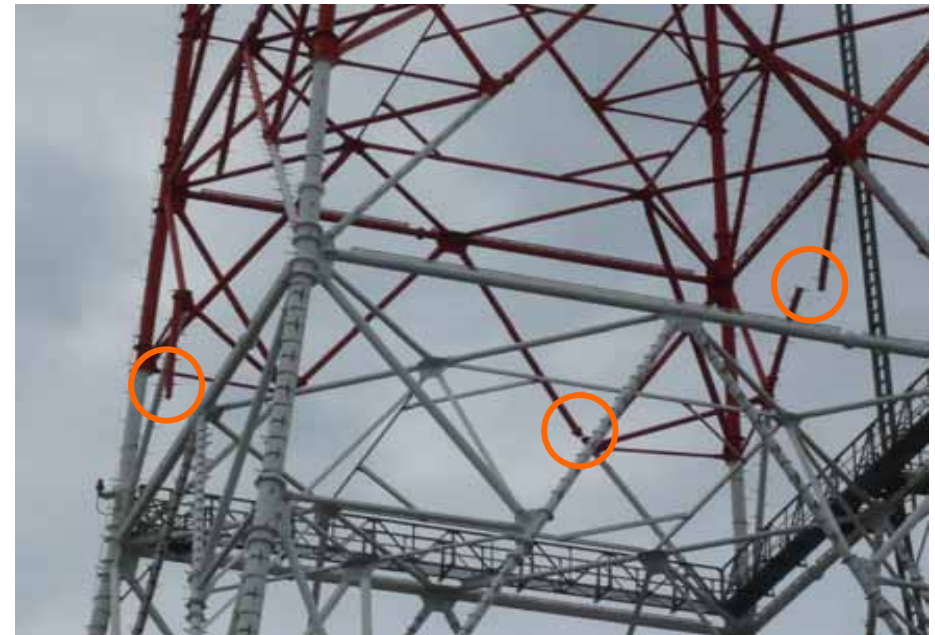
敷地内建物等の配置図



敷地内の被害状況の整理 - 主な被害状況写真



1 . 荒浜側避雷鉄塔の斜材が破損

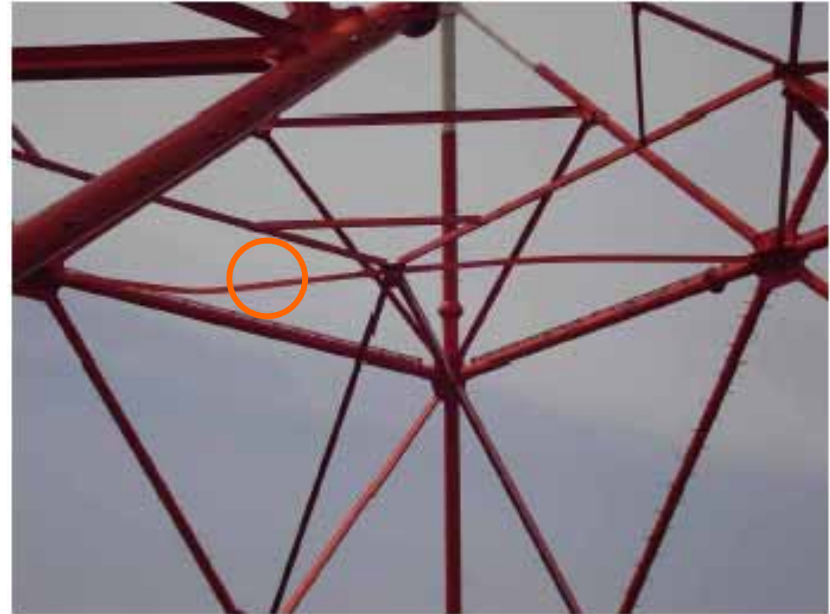


2 . 荒浜側避雷鉄塔の斜材が破損（拡大）

敷地内の被害状況の整理 - 主な被害状況写真



3 . 大湊側避雷鉄塔の斜材が座屈



4 . 大湊側避雷鉄塔の斜材が座屈（拡大）

敷地内の被害状況の整理 - 主な被害状況写真



5 . 荒浜側ろ過水タンクの座屈



6 . 大湊側ろ過水タンクの座屈

敷地内の被害状況の整理 - 主な被害状況写真



9 . 事務本館天井落下状況



10 . 事務本館什器転倒状況



11 . 固体廃棄物貯蔵庫のドラム缶転倒状況

まとめ

- 敷地における建築物等の耐震性が異なることや，建築物の棟数が少ないことから，被害状況からは，向斜軸に沿った「震災の帯」の存在は明確には確認できなかった
- しかしながら，耐震性がほぼ等しいと考えられる荒浜側と大湊側の避雷鉄塔被害の差があることから，褶曲構造の影響による地震動の差が要因の一つであると考えられる